

(1)生徒の体力の現状

<男子>
○全学年で握力、反復横跳び、50m走において、全国平均より上回っている。(握力では1年生が2.9p、3年生が2.1p上回っており、反復横跳び、50m走は僅かであるが上回っている。)
●上体起こし、長座体前屈とも全国平均より下回る傾向にある。
●シャトルランは、1年生で6.2p、3年生では10.03pも下回った。
●立ち幅跳びでは、1年生で6.74p、2年生では7.02p下回った。

<女子>
○2年生は、長座体前屈以外は全国平均を上回る傾向にあり、中には大きく上回る種目もあった。
○握力、上体起こし、立ち幅跳び、ボール投げでは、全学年とも全国平均を上回っている。
○反復横跳び、シャトルラン、50m走では、3年生のみ全国平均を下回ったが、その差も僅差であった。
●長座体前屈は全学年とも全国平均を下回った。1年生は5.31p、2年生は1.09p、3年生にいたっては6.64pも下回っている。

(2)30年度の具体目標の達成状況と課題

○持久力向上に視点を当てて取り組んだことで、シャトルランの記録の向上が見られるようになった。また、長距離走の授業においても自ら努力目標を設定して取り組む生徒が見受けられるようになった。

○保健体育科だけではなく、養護教諭や栄養教諭とともに、授業や学級活動、給食の時間などに指導することで、生活習慣や食生活についても現状や課題を把握できる活動を継続している。

●意識調査から、2年生女子の運動に対して意識の高さを表す結果が見て取れるが、中学校卒業後の自主的な運動については消極的な意見が多いことが分かった。将来に向けての運動や健康について必要性の奨励を伝えていきたい。

●本校の長年の課題である柔軟性の向上が達成できなかった。活動が単発になったり、部活動任せになるなど、徹底した活動ができなかった。

●新体力テストの結果から個人の課題解決に結びつける意識づけや取組が十分ではなく、毎年同様の課題を抱える生徒が多い。

(3)31年度の取組【対策】

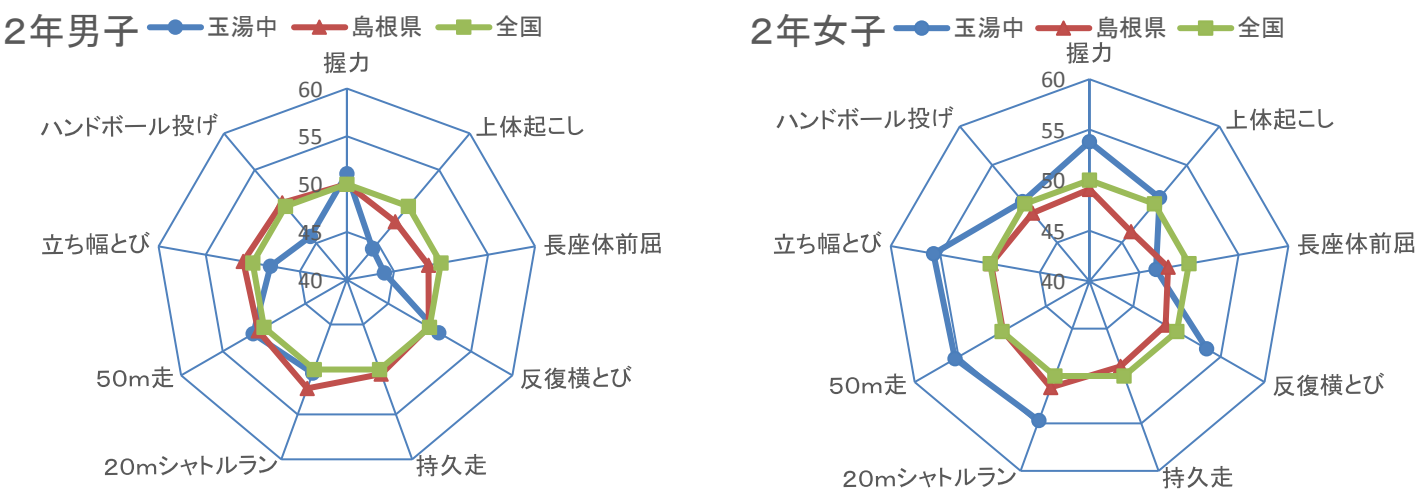
①学校における取組
・昨年度課題であった授業での「めあて」、「ふりかえり」については、わかりやすい掲示やふりかえりでの発表活動などを取り入れることによりある程度徹底できたと考える。来年度も引き続き継続して取り組んでいきたい。
・体力向上の目標を立てるという点では、数値の目標を立てたり、自らの伸長状況の把握ができるように工夫をしたが、生徒一人ひとりの意識の高まりまでにはいたっていないと思われる。今後も手直しをしながら継続していきたい。
・柔軟性の向上につながる活動を推進していく。

②地域や家庭との連携による取組
・ロードレース大会時の広報、ボランティアの協力。
・体育祭にPTA活動と共同し、地域の方の種目を実施し、その取組を広報活動で伝える。

③体力向上をめざした生活習慣の確立、食育推進の取組
・毎学期に1回、生活習慣振り返りシートを用い、自らの食生活や運動量(活動量)について、振り返り課題を見つけることができるように、指導を継続していく。
・健康の保持増進、体力向上につながるバランスの良い食事の摂り方を、学級活動や給食の時間に栄養教諭や養護教諭などからも指導する機会を設ける。
・夏休みの課題として、「朝食づくりに挑戦」の課題を提出させる。

調査実施者数(人) 1年(男子22・女子28) 2年(男子26・女子17) 3年(男子22・女子22)

(4)2年生 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



(5)全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査 2年生意識調査の結果

